



ギョッ

……君が
次の使用人希望の子か



田中一男と
名乗るこの男…

貿易商であり、
国にも太い繋がりを持つ
大富豪…だが

その正体は
妖狐であると目され
使用人を次々と
雇っては食い物に
していると聞く



よろしくお願ひします

妖狐は異性を
たぶらかすプロだ

慎重に奴の
動向を探る
必要があるな…

あ……っ
は……っ

この媚薬は
体に染み渡り
体の感度を体質から
変えていく

これくらいのこと
根を上げるようでは
先が思いやられるよ

我が家の使用人になるには
まず身体を私好みに
調教するところから
始まるんだ

私を悦ばせるための
極上のメスに仕上げる

まずは一日かけて
じっくり媚薬を体に
塗り込む

塗り終えた頃には
触れただけで
軽く絶頂して
しまうだろう

心配しなくていい
今は嫌悪していても
最後には喜んで
自ら体を
差し出すようになる



次は胸の開発だ

っ

乳首だけでなく
胸全体を開発する

乳首だけでなく
胸全体を開発する

乳房が中から
だんだん温かく
なってきたら
母乳が出る前兆だ

ただ母乳を吹かせるのは
少し難しくてね

雌牛のごとく
母乳を吹き出せるように
なればひと段落だ

君が気持ちよくなったら
だらしなく母乳を吹き出す
雌牛であると
自覚しなければ
母乳を吹かせることが……

ああいや
杞憂だったかな

ああいや
杞憂だったかな

次は子宮の開発だ

ここを気持ちよくされると
自分がメスであることを
より意識してしまうだろう？

皆ここまでの調教で
発狂してしまうのだが
君は素晴らしいね

体力や精神力が
今までのメスとは
桁違いだ

子宮の開発は
特に力を入れる
ここの開発度合いで
女性器の具合は
大きく変わるんだ

容姿やスタイルも
最高だが
メスとしてこれ程までに
完成された人間は
初めて見るよ

ギョ

ギョ

ひゅん

最後は精子風呂の中で
一晚過ごしてもらおうよ

調教中

メスとして
これ程脳を破壊される
シチュエーションも
中々ないだろう

むせかえるほどの
濃い精液の匂いを
嗅ぎながら
全身で精液を感じるんだ

精液の中に
自身の体が
とろけていくのを
じっくり味わいなさい

どろ
どろ

グッ...
グッ...

さて
まずは
ご苦労様

そして
いよいよ
最後の調教だ

ひら♡

その格好も
悪趣味かなと思ったが
存外似合っている
じゃないか

ここまで
本当に長かった

まさかここまで
念入りにメスに
堕とされるとは

……ありがとうございます

だがこれ乗り越えなければ
こいつとの契約紋を用いた
性行為まで持ち込め
なかっただろう

しかし今回ばかりは
無理をしすぎたな



勝てる気がしない



こいつの「おちんぼ様」を
見ただけで
私の体と心は屈服したくて
たまらなくなっている

メスとしての
自分に抗えない…
犯されたくて
たまらない



さて
本番の前に



ギョロ

契約紋を
刻みなさい

今から君は
自分の切り札によって
私に屈服するのだ

気づいてないと
思っていたのかね
私をあまり
舐めない方がいい

さあ刻みなさい

…かしこまりました

ポウ...

よろしい
では始めよう

この調教期間
君の秘部は
一度も触れられていない

そんなお預け状態で
一体どれ程
耐えられるかな？

君は
負けることを
望んでいるのかな？

いや…
もしかしたら

ギ...

しゅっ

す...

ド

ちゅ

ひゅ

ぐわ

びゅん



はははっ
入れた瞬間に
イってしまったか

ぎゅん

祓い屋も
所詮はメスだったな!

びゅん

ぎゅん

びゅん

さあ我が奴隷よ
情けなく腰を
振りなさい

あああ！
気持ちいい♡

おちんぼ様
気持ちいいですっ♡

は、はい……っ♡

はははっ
よろしい
褒美に膣内に
出してあげよう！

あ、ありがとうございます♡

早くっ♡
ください♡

ダメだっ
ダメなのに……っ
何も……
考えられなくっ♡

どちゅ♡

どち

どちゅ

妖狐の私が
こんな小娘に
イカされるなんてね

ポカ...

これは
いいおもちゃを……

びっ

ク

まん

まん



なぜ
今契約紋が
反応を……

ぐっ……

ま、ま……っ

射精していただき
ありがとうございました



元ご主人様

そして
お世話になりました



……



全く恐れ入る
ここまで追い詰め
られるとはな

我慢しすぎて
脳が焼ききれるかと
思った……



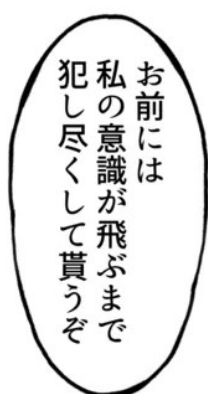
絶頂は……



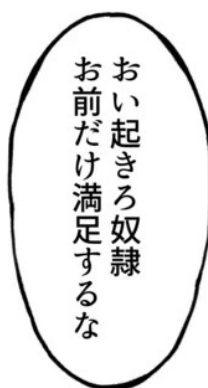
演技

か……

どっ……



お前には
私の意識が飛ぶまで
犯し尽くして貰うぞ



おい起きろ奴隷
お前だけ満足するな



調教最終日
私は敗北した

契約紋により
私は奴隷化した
にも関わらず

ご主人様は
私を徹底的に
犯し、さらに調教を重ね
ほんの一欠片の
反抗心すら快楽に
塗りつぶされた

メスである私は
強いオスを求め
屈服させられるために
存在するのだと
心から理解してしまった



奴隷となつてから
一週間

そこには
祓い屋の姿はなく
新しい使用人がメスとして
ご主人様という強いオスに
飼われていた

ただのメスとして
扱われる

他の使用人と
なにも変わらない
その日の気分で
ご主人様に犯される
ただの傀儡

あんっ♡

んっ♡



次もまた指名して
いただけるよう
他の使用人同様
精一杯媚を売り
ご主人様を悦ばせる

だが私達は所詮ただのメス
一度行為に及べば
ただただ快楽に
酔いしれてしまう



どれだけごんざいに
扱われようと
私達は幸福と感じてしまう

たとえオナホ以下の
扱いをされようと
私達は喜んで
股を開いてしまう



なぜなら

こんなに
気持ちいいから